

2000年7月の東北地方の天候(速報)

【7月の特徴】

・高温多雨

・台風第3号による記録的な大雨と強風

(1) 概況

東北地方は、高気圧に覆われ晴れて暑い日が多かったが、台風第3号の接近や前線の活動が一時的に活発化したことにより大雨となる日もあった。特に、台風第3号は東北太平洋側の沿岸部に記録的な大雨や強風をもたらし、大きな被害が発生した。

なお、東北南部は7月21日頃、東北北部は7月27日頃梅雨明けしたとみられる。(但し、この梅雨明けの時期は暫定値であり、8月21日以後検証により確定した値が発表される。)

気温はかなり高い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側でかなり多い。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側でやや多い。

(2) 天候経過

上旬： 高気圧に覆われ晴れる日が多かったが、上空に寒気が入った影響で大気の状態が不安定となる日もあり、雷雨や降ひょうによる被害が発生した。8~9日にかけては台風第3号が東北太平洋沿岸を北上し、東北地方は大荒れとなった。8日の日降水量は宮古319.0mm(通年第1位)、仙台124.0mm、八戸112.5mm(いずれも7月として第1位)を観測し、アメダスでは宮城県雄勝で357mm(通年1位)を観測した。また、最大瞬間風速は大船渡29.8m/s、八戸29.4m/s、盛岡27.4m/s、宮古27.3m/s(いずれも7月として第1位)などを記録した。このため、東北太平洋側の沿岸部を中心にかけ崩れや家屋の浸水、交通障害などの被害が発生した。

気温はやや高い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側でかなり多い。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側でやや多い。

中旬： 高気圧に覆われ晴れる日もあったが、気圧の谷や梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多くなった。13日は福島県南部を中心に雷雨となって、床下浸水や停電などの被害が発生した。また、17~19日は、東北地方に停滞する梅雨前線の活動が活発化して山沿いを中心に大雨となり、山形県では河川の増水により2名が死亡した。

気温はやや高い。降水量は平年並。日照時間は東北北部で平年並、東北南部でやや多い。

下旬： 21~24日は、東北北部では梅雨前線の影響により曇りや雨の日が多かったが、東北南部は太平洋高気圧に覆われ概ね晴れた。25~26日にかけては、大陸から南下した前線が東北地方にかかり、活動が活発化してまとまった雨となった。特に、青森では25日の1時間降水量67.5mm(通年第1位)、日降水量133.5mm(7月として第1位)などを記録する激しい雨となり、家屋の浸水などの被害が発生した。その後は太平洋高気圧に覆われ晴天が続き、30~31日は記録的な猛暑となった。日最高気温は30日にむつで33.5、31日に秋田で37.9、酒田で36.8(いずれも7月として第1位)などを観測した。

気温は東北北部でやや高い、東北南部で平年並。降水量は東北北部でやや多く、東北南部で平年並。日照時間は平年並。

(3) 月統計値の極値・順位の更新(月平均気温、月降水量、月日照時間の3位まで。ただし白河の月降水量は統計期間が短いため、1位に該当した場合のみ示す。)

<月平均気温の高い値>

第2位 大船渡 23.2	第1位 白河 544.5 mm
新庄 23.9	第2位 宮古 381.0 mm

<月降水量の多い値>

第2位 宮古 381.0 mm

本資料のデータは速報値です。確定値は16日に決定します。

本件に対する問い合わせ：仙台管区気象台技術部気候・調査課統計係(電話：022-297-8110)

表.月気候値表(2000年7月)

地 点	月平均気温(平年差) 階級	月降水量(平年比)			月間日照時間(平年比)		
		mm	%	階級	h	%	階級
青 森	23.1 (+2.2) かなり高い	263.5	(261)	かなり多い	164.1	(92)	平年並
深 浦	22.7 (+1.4) かなり高い	137.5	(89)	平年並	147.6	(83)	やや少ない
む つ	21.8 (+2.3) かなり高い	199.0	(159)	やや多い	151.9	(96)	平年並
八 戸	22.2 (+2.1) かなり高い	223.5	(185)	かなり多い	165.0	(97)	平年並
秋 田	24.2 (+1.6) かなり高い	133.0	(71)	平年並	135.2	(77)	やや少ない
盛 岡	23.5 (+1.8) かなり高い	196.0	(116)	平年並	152.6	(102)	平年並
宮 古	22.0 (+2.0) かなり高い	381.0	(308)	かなり多い	172.4	(117)	やや多い
大船渡	23.2 (+2.4) かなり高い	174.5	(106)	平年並	178.5	(118)	やや多い
山 形	25.0 (+1.9) かなり高い	226.5	(158)	やや多い	172.3	(110)	平年並
新 庄	23.9 (+1.9) ---	175.5	(92)	---	145.9	(108)	---
酒 田	24.7 (+1.8) ---	107.5	(59)	---	163.5	(87)	---
仙 台	24.3 (+2.3) かなり高い	248.5	(165)	かなり多い	152.9	(123)	やや多い
石 卷	23.1 (+1.8) かなり高い	185.5	(148)	やや多い	181.3	(123)	やや多い
福 島	25.8 (+2.3) かなり高い	196.0	(143)	やや多い	166.6	(123)	やや多い
白 河	23.6 (+1.7) かなり高い	544.5	(***)	---	×	(---)	---
小名浜	23.3 (+1.8) かなり高い	163.0	(144)	やや多い	197.9	(134)	かなり多い
若 松	24.5 (+1.1) やや高い	202.5	(128)	やや多い	202.3	(122)	やや多い

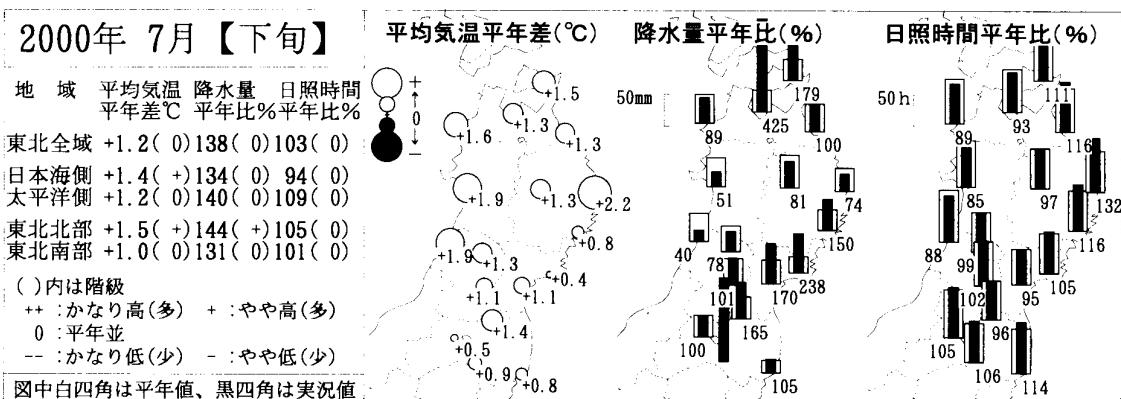
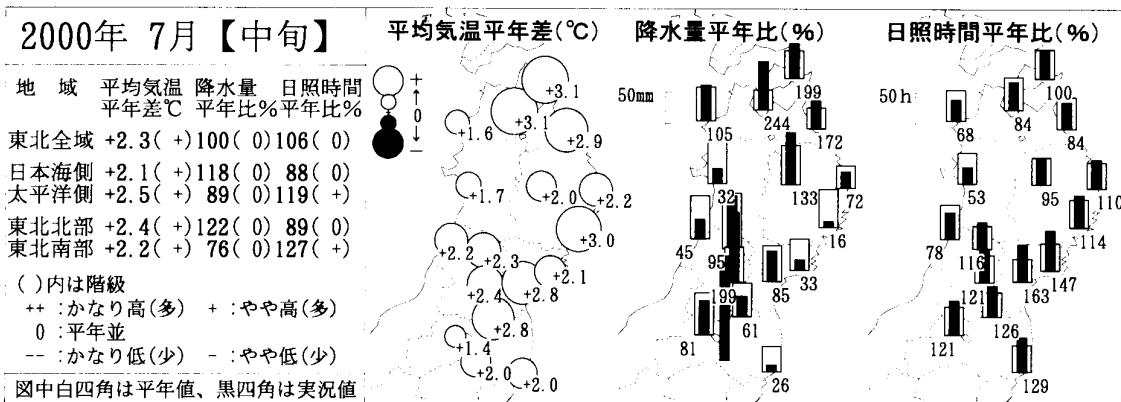
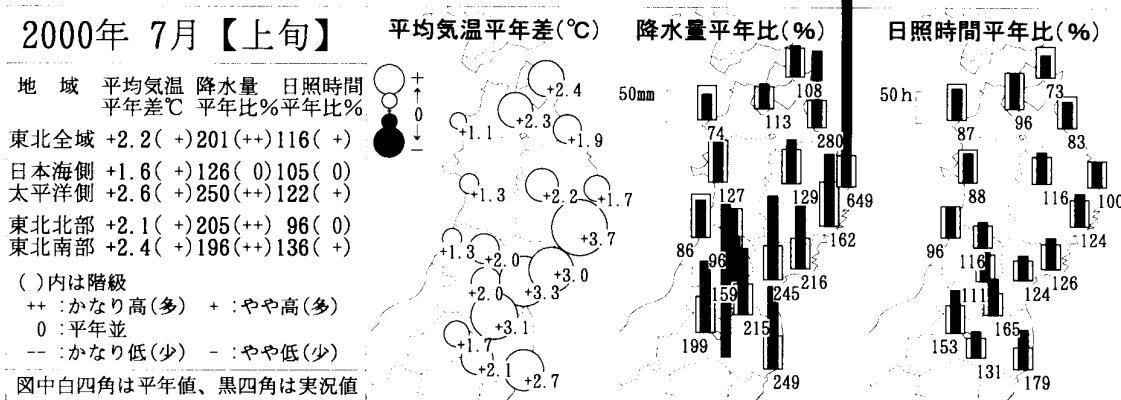
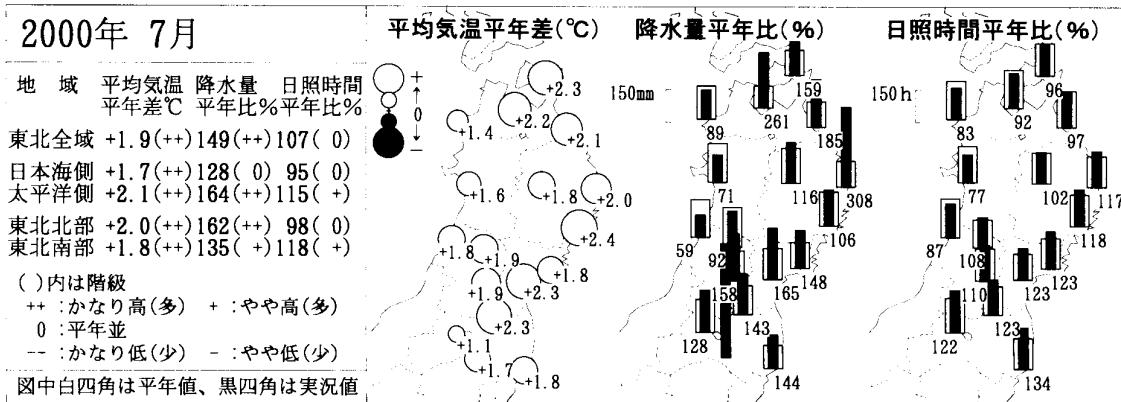
× : 欠測) : 欠測日を含む - : 現象なし *** : 統計期間が 8 年に満たないため平年値がない。

--- : 統計期間が 24 年に満たないため階級区分値がない。

(酒田は準平年値(1971~1990 年)、新庄は累年平均値(1986~1996 年)との差(比)を示す)

階級は「かなり低い(少ない)」「やや低い(少ない)」「平年並」「やや高い(多い)」「かなり高い(多い)」の 5 階級に区分されています。それぞれの階級幅は、1961~90 年の 30 年間ににおいて出現した値を小さいほうから、10% (3 個)、20% (6 個)、40% (12 個)、20% (6 個)、10% (3 個) に区分し、階級の境界値は下位の階級の最大値と上位の階級の最小値を平均した値としています。統計年数が 24 年以上 30 年未満の場合についても同様の割合で区分されていますが、24 年未満の場合には階級区分がありません。

図. 2000年7月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1961~'90年。但し酒田は準平年値(1971~'90年)、新庄は累年平均値(1986~'96年)を使用。白河の降水量は統計期間が短く、平年値が無いので実況値を表す黒四角のみ表示する。